広報
きめがわ
平成4年
11
No.467



7,000人でにぎわった 鮫川うまいもの祭り





10月18日第5回高原の鮫川うまいもの祭りが秋晴れの好天に恵まれ鹿角平観光牧場で盛大に行われました。鮫川牛のバーベキューに舌鼓を打ち、「力自慢大会」「志摩幸子歌謡ショー」などのイベントで楽しい1日を過ごしました。



農村・農業の明日を考える

十月三日、鮫川村、鮫川村議会、鮫川村農業委員会、鮫川村区長会、ＪＡ鮫川村が主催する農村・農業活性化フォーラムが開かれました。講師に福島県農協研修センター講師、元福島県農業短期大学校教官の西山泰男先生を招き基調講演、討論会が行われ、農村・農家の生活の環境改善、担い手の育成・確保問題、農用地有効利用等について話し合われました。基調講演の一部を紙上でお知せします。

人が動くと問題がみえる

山村は既に昭和四十年代に急速に人口が減っているのに山村振興法というのができない。四十四年半ばになって山村振興法ができたが十年も遅れている。

過疎の問題は山村だけの問題ではなくて、日本農業全体にかかわる問題だということが山村からでてこなくてはならないと思います。村の人が動かないとダメなんですね。村の人が動いて初めて問題が見えてくるんです。

そして、昭和三十四～四十年代に行政は大変苦悶の度を深めていました。何をやって良いかわからない。キノコ、山菜、畜産をやってみる。様々な模索が続いていました。

鮫川村と似たところをみる

じゃ、農業をどう展望すればよいのか。

今、農業法人化、集団化を進めるべきだといわれていますが、基本的には、家族が農業で食っていけるものをどうやって選びだすかです。

そのためには、鮫川村と似たような山村をみることです。一つは青森県の田子町。山を放牧地に変えて、黒毛和種と日本短角を入れて、できた堆肥でニンニクを作る。ニンニクは日本一の産地です。同時に果樹をとり入れる。水田、畜産、ニンニクの複合経営を目ざしていったんです。

もう一つは長野県です。長野県の茅野あたりに行くと洋菜をやっていますが、レタスだけをやっていますね。県内では、岩瀬なんかもキュウリの一大産地としてつくっていったんですね。

また山梨県塩山市は、日本で初めての夏秋トマトの発祥地ですが、モモを植えて収穫するまでの間に何をやるかと

明治から昭和初期まで、阿武隈山地の山村は木炭と馬と米で生活していました。しかし、戦後、燃料革命によって石油が燃料となり山村に大きな影響を与え、農村は貧しくなり、昭和三十五年頃から農村の人口は都市に流出し、現在の農村の姿となったのです。

ヨーロッパと日本の違いは

ヨーロッパには次のような共通思想があります。それは、例えば鮫川村は鮫川の最上流地域ですが、この水源をきちんと守っているがゆえに、下流の農民が農業ができるんだという発想です。ですから、上流の農民が健全であるから下流の人間が生きている。そうすると下流で儲けた金は上流に返さなくちゃならない。こういう共通の認識をもっているのです。

日本の場合は、山村なら山村の行政単位で物事を考えるが、そうでなくて一つの流域として、一つの自然産業としてどうなのかということです。

また、イギリスの場合農業国から工業国に変わるのに、農村から都市に人口が移るのに一〇〇年もかかったんです。日本は、昭和三十年代後半から流出した人口は、わずか五～六年か十年で太平洋ベルト地帯に人口の約半分が集ってしまったんです。都市が一挙に過密に、農村が過疎になってしまったんです。もともと過疎という言葉はなかったんですが、過密の反対語として新聞記者がつくった言葉なんです。



いうときに、青年部ではトマトを作ることになりました。その時、村と農協で金を出して全国のトマトの産地に研修にやったんです。そして研修でみたものをもちこんできて実際にやってみたんです。

いずれも試行錯誤がありながらも、これから最も伸びるものを見つけるために同じような地帯をみながらもちこんで、その間農協・村などが作目の選択をして、市場などをきちんとみていくということなんだと思います。

そういうところの農業を輸入することだと思います。

今、日本で消費量が一番多い野菜が大根なんです。大根は供給が増えても値段が上がっているんです。キャベツも量が増えながら値段は上っているんです。重量野菜は作る人がいなくなったといわれていますが、大根は短根のものができて、キャベツは渥美半島などでは収穫専門の株式会社ができたりしています。そういうものをみてみたらどうでしょうか。

静岡県の三ケ日町は、一ケース五〇〇〇円くらいの日本一のみかんを作っています。もともとは一番まずいみかんだったんですが、有機栽培のために家畜を飼ったんです。今では最高のみかんを作っています。一戸平均一〇〇〇万円の収入です。そのかわり必死の努力を続け、みかんに賭けています。みかんの産地で良いところにはどんどん職員を派遣してアタックしています。

みたものを実践する

福島県では、さかんに長野県、新潟県、北海道などに研修に行っていますが、実践した例が全然ないんです。そこが福島県の最も弱いところです。必ず温泉に入って、酒を飲んで研修は終りとなります。

北海道の士幌町農協の組合員は一戸平均五〇〇〇万円くらいの預金があり、負債は〇です。農協が付加価値をつけて出しています。

こういう成功しているところには、私心を忘れて社会的な使命感のもとに生きぬく人がいるんですね。

若者よ！社会に踏み出せ

次に、担い手の問題ですが、これは非常に重要な問題です。

例えば高知県では農業高校、大学が終わったあと、全員二～三年外に出すんです。すぐに家の仕事はやらせない。後で家の仕事をやらせる。それは経験を踏ませることによって他の社会がみえる。他の社会がみえることによって自分の家がわかってくるということなんです。同時にお嫁さんの対策もあると思う。

福島県内にも大学を出て農業をやっている人がいます。営農をやっています。営農をやっているところにはちゃんとお嫁さんがきています。どんどん集まりに出ています。

例えば青年会がありますと女の子も来ますから、そこで見つけています。そういう集まりに積極的に出て相手を説得してくるんです。

女の人を対等にみる

女の人が結婚しないといっています。なぜかというと女の人が自立して生きて行けるし、男に従属するものではないと考えている。男の人が女の人は自分に従属するものだという考え方が消えないうちはダメですね。女の人と対等の人間としてつきあうという姿勢が必要ですね。大正、昭和の時代とはちがうんです。

結婚してうまくいっている農家に行くと、ものすごく仲が良い。嫁・姑なく対等なんです。平等の意識が我々に育ってこないうちには説得できない。内面的な問題で方法論ではないですけれども。

農村が見直される

環境問題ですが、東京はもう人間の住むところでなくなってきています。ですから今、農村に帰る、村に帰るということが増えている。ところが日本の場合、それをリゾートと結びつけている。リゾートはあまりにもリッチで、そんな生活はできません。

ドイツの場合は、農家に行って二十日くらい農家の仕事をして、そこでとれたものを食べて帰るんです。

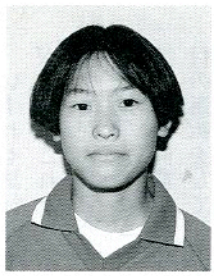
それを東京の高校生が秋田と山形の農家に修学旅行に行って農作業をやって、こんなにすばらしい作業があったのかということを人間の感動として書いているんです。都市は二十一世紀にはもう人間の住むところではなくなってしまい、都市機能を全く失ってしまうと思います。そして村に帰ってくるのが二十一世紀だと私は確信しています。

村がなかったら日本はあり得ない。食糧をなくして人類の生存があり得ない訳ですから、その基本命題を忘れて突っ走っているわけです。それをもう一度考えてみることが大切ではないでしょうか。

二十一世紀は農村の時代になると確信しています。



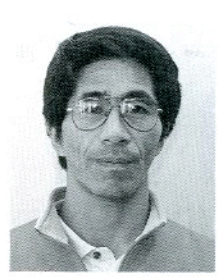
3区　湯坐　久さん
（鮫川中１年）
練習をいっしょうけんめいやって、がんばります。



2区　大竹　祥子さん
（鮫川中１年）
ベストを尽くして走ります。



1区　我妻由美子さん
（鮫川中３年）
足をひっぱらないよう自分の力を十分だしてがんばります。



監督　岡部　幸雄さん
（鮫川中学校教諭）
昨年の記録更新をめざしてがんばらせたい。声援お願いします。



団長　生方　利夫さん
（体育協会長）
前年の記録を維持し村の部優勝を目指してがんばります。応援をお願いします。

がんばれ！〝さめがわ〟

ふるさとのランナーがタスキをつないで、みちのく路を縦走する「第四回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会」が十一月二十二日白河・福島間で行われます。

第4回　ふくしま駅伝

鮫川村チームは、九月十八日に結団式が行われ、「一本のタスキに選手全員の気持ちを込め、村の名誉と期待に応えるよう全力で走り抜きます」と上位入賞を目指し、健闘を誓いあいました。

合同練習や記録会、大会コース試走などを行い、大会に向け毎日練習に励んでいます。

鮫川村チームは、昨年総合十七位、町村の部八位入賞と県下に鮫川村の名を広めました。

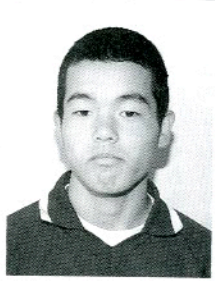
今年の大会には、昨年より三町村多い八十八市町村が出場します。

白河総合運動公園を午前八時五分にスタートし、ゴールの福島県庁前までの一〇一・七キロメートルで健脚が競われます。

村民のみなさんのあたたかいご声援をお願いします。



補欠　沢口　誠治さん
（鮫川中　３年）
くいがのこらないように力いっぱいがんばります。



補欠　関根　満さん
（鮫川中　３年）
「勝ぞ、オー！」の気力でがんばります。



補欠　根本　幸治さん
（鮫川中　１年）
レギュラーになれるように力いっぱいがんばります。



補欠　舟木　順子さん
（鮫川中３年）
できる限りの力を出して、がんばります。



補欠　小松　直美さん
（鮫川中３年）
チームのために精一杯がんばります。



8区　舟木　副善さん
（鮫川中　1年）
村のために一生懸命全力を尽してがんばります。



7区　北條　訓さん
（棚倉高　2年）
村の部で優勝できるようにみんなで力を合せてがんばります。



6区　舟木　敏勝さん
（白河高　1年）
昨年より上位をめざして、足をひっぱらないようがんばる。



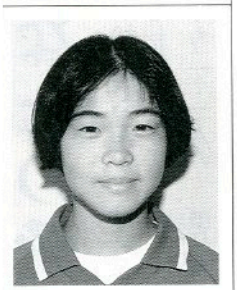
5区　高野　勇一さん
（専門学校）
今夏は走込みがなかったが与えられた区間をがんばって走る。



4区　湯坐　秀弥さん
（学法石川高2年）
自分の力を出しきって精一杯がんばりたいと思います。



9区　矢吹　靖弘さん
（鮫川中3年）
自分の力を出しきって、チームのためにがんばります。



10区　矢吹　博子さん
（鮫川中2年）
チームと自分のために力いっぱいがんばります。

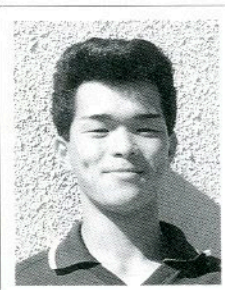




11区　須藤　勝広さん
（鮫川中2年）
体調をベストにして区間賞をとるようがんばります。



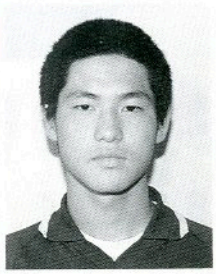
12区　諸橋　忠男さん
（清陵情報高1年）
村の部の区間賞をねらってがんばりたい。



13区　矢吹　智さん
（学法石川高2年）
みんなの足をひっぱらないよう上位入賞目指してがんばります。



14区　溝井　武治さん
（仙台育英高3年）
今年初めての出場。上位入賞目指してがんばります。



補欠　舟木　貴志さん
（鮫川中3年）
昨年より上位を目指していっしょうけんめいがんばります。

すてきに見えます健康な人

東白川地方公衆衛生大会



地域住民の健康生活をより高める目的をもって毎年開かれている「東白川地方公衆衛生大会」が、東白川郡四町村の関係者が参加して、十月二十日村山村開発センターで行われました。

棚倉保健所長、東白川地区公衆衛生協力会長、東白川保健委員会連合会長、芳賀村長のあいさつに続き、長年、公衆衛生に貢献された団体、個人に表彰状、感謝状が贈られました。受賞者を代表して、藤田一夫赤坂西野区長が謝辞をのべました。引き続き、国立那須甲子少年自然の家所長の内田忠平先生をお招きし、「豊かな人生をおくるために」と題して特別講演が行われました。

最後に、富田の松本恵治さんが力強く大会宣言及び大会決議を朗読し満場一致で決議され閉会となりました。

この大会で、受賞された方々は次のとおりです。

◎東白川保健委員会連合会長表彰

▽赤坂西野区

◎福島県赤十字血液センター所長感謝状贈呈

▽鮫川郵便局▽鮫川村商工会青年部

あなたの愛をありがとう

十月十六日、村内四会場で献血を行い、九十人の方々の協力があり、うち二十一人の方々から四〇〇㎖献血のご協力をいただきありがとうございました。

献血にご協力された方々は次のとおりです。（敬称略）◎は四〇〇㎖献血者です。

▽蛭田一（福原）▽蛭田栄（中野町）▽平久江勝雄（青生野）▽藤田幸雄（関下）◎山形郁夫（上耕地）◎近藤誠一（田尻）▽津田登美（木之根）▽小松マサ（下）▽大平啓子（二反田）▽藤田英子（上耕地）▽添田サチエ（鍬木田）◎生田目京子（辺栗）◎青砥ハツ子（塙町）▽蛭田セツ子（中野町）◎松本一治（鍬木田）◎高木正則（新宿）◎鈴木義延（石川町）◎舟木正二（広畑）▽高木フミエ（新宿）▽塩田幸子（巡ケ作）▽矢吹スミ子（巡ケ作）▽根本一美（岩野草）▽小山田一成（反田）▽添田剛弘（鍬木田）▽斎須寛一（新宿）▽鈴木治男（道少田）▽鈴木守弘（馬場）▽舟木正博（石ノ花）▽近藤保弘（新宿）◎白坂武久（塙町）◎生田目誠（青生野）◎須藤健（名下）◎芳賀正人（石川町）◎藤田一夫（本坂）◎金沢満（前田）◎円井正男（取上）◎緑川幸汪（竹貫）◎樋口和典（石川町）遠藤裕美（石川町）◎須藤宏（新宿）◎緑川三佐子（真坂）◎近藤昌子（新宿）◎鈴木ハツエ（新宿）▽高木頼子（薄ケ久保）▽須藤カヨ（後田中）▽佐藤二三江（火打石）▽星秀子（蕨平）▽鈴木眞理子（大塩）▽我妻久子（落合）▽鈴木ツヤ子（伏木田）▽渡辺カツ子（道少田）▽霜田和子（前折戸）▽塩田光子（石井）▽芳賀次男（戸草）▽大橋滋（前沼）▽笹島敏（青生野）▽金澤賢嗣（真坂）▽阿久津智典（折戸）▽生田目満（青生野）▽佐藤律文（伊柳沢）▽須藤陽一（石川町）▽我妻英樹（落合）▽金沢雅俊（前田）▽我妻誠（落合）▽矢吹裕次（塩倉）▽荒木文生（伊柳沢）▽高野恵美子（発地岡）▽円井ひとみ（芦ノ草）▽斉藤美和（吉合）▽円井こずい（芦ノ草）▽舟木裕子（石ノ花）▽舟木則子（石ノ花）▽高木美代子（押野）▽中川西恵美（中野町）▽根本由美子（岩野草）▽山形美智子（青生野）▽田中理絵（伊柳沢）▽八代真樹子（青生野）▽白坂真由美（名下）▽関根直美（大沢）▽鏑木末子（内ケ竜）▽斉藤淳子（草牛）▽本郷順子（戸草）▽鈴木順子（馬場）▽添田晃子（石川）▽星恵（蕨平）▽矢内修子（石川町）◎折付玲子（棚倉町）

◎成分献血者　永沼祥二（古殿町）　鷲野谷弘幸（二反田）



保健婦です

こんにちは

中野保健推進員伝達講習
カルシウムをとって健康増進
―牛乳・乳製品料理―



十月一日赤坂中野区集落センターで中野方部の保健推進員と中野婦人会による合同伝達講習会を開き、二十二人の参加がありました。

講師に保健推進員会長の斉藤美津江さんをお願いしました。

牛乳、乳製品料理を指導され参加者は熱心に受講されていたようです。

若い方が多かったので、いつものなれた手つきですばやく、あっというまに調理されテーブルに並べられました。

いずれもかんたんで、材料はどこでも手に入るようなものでした。パセリご飯は見た感じも白とグリーンでとてもきれいで思ったより臭みもなくよかったと思います。鶏肉は一度フライパンで焼いたり牛乳など使ったためかやわらかくておいしかったとの声でした。緑のジュータンはきゅうりをジュータンがわりにするのはよいアイディアだと思いました。レタスサラダのかわりにもなるでしょう。ヨーグルトはレモン汁が入りさっぱりとしていました。

午後六時頃からの実習は八時頃できあがり、会食しながら今日のでき具合を話し、盛会裡に終了しました。

献立

- ○鶏肉煮込ハンガリー風
- ○パセリご飯
- ○緑のジュータン（イカと野菜サラダ）
- ○ラッシー（飲むヨーグルト）



予防接種



はしかに一度かかった人は二度とかからないですむことは昔から知られていました。このような病気にかかることでできる抵抗力を免疫といいますが、予防種種はまだ病気にかかっていない人に人工的に免疫を与え感染症にかからないようにするものです。予防接種に用いる薬剤はワクチンとよばれ、生ワクチンと不活化ワクチンとに大別されます。

法律に基づく予防接種には、適した月齢と接種の種類により、効果的かつ副反応を防ぐために、実施期間が定められています。病院で接種をしてもらう個別接種と、決められた日に決められた会場で受ける集団接種とがあります。鮫川村では三種混合、はしか、おたふくかぜの予防接種は個別接種を実施しています。三種混合は月二回接種日が決まっています。はしか、おたふくかぜについては村診療所で随時受けられます。（電話予約）その他、ポリオ、ツベルクリン、BCG日本脳炎については集団接種を実施していますので、定められた日時に受けましょう。

生後三か月をすぎたら、ポリオ、（ツベルクリン、BCG）三種混合のⅠ期（二回までは早めに）を受けられます。接種間隔は一か月を目安に、一歳までには受けておきましょう。一歳半を過ぎたら、はしか、おたふくかぜの予防接種が受けられます。三種混合のⅡ期はⅠ期の接種が終了してから一年後となります。日本脳炎については、二歳以上を対象に施設で実施しています。

私たちの暮らしが昔のように伝染病を恐れずにすむようになったのは、予防接種の実施によるところが大きいのです。社会生活を営む者の責任として、子どものすこやかな成長を願う親の責任として、予防接種は必ず受けましょう。

おにぎりまるかじり大会



十月十八日うまいもの祭り会場で、米消費拡大事業のひとつとして西山水稲成苗植組合協賛により「おにぎりまるかじり大会」を行いました。

おにぎりを自分で作り、それを食べる速さを競うもので成苗植による新米四俵（農林21号、コシヒカリ、ひとめぼれ）を準備し、おにぎり十二キログラム、残りはそれぞれ入賞、参加賞に、またPR用として一般の方先着二百四十人に四合ずつ配布しました。この米を家に持ち帰って食べてもらったあと、同封のアンケートに協力していただいた結果、〝おいしい〟という声が圧倒的に多く鮫川の米をPRすることができました。

西山 水稲成苗植組合

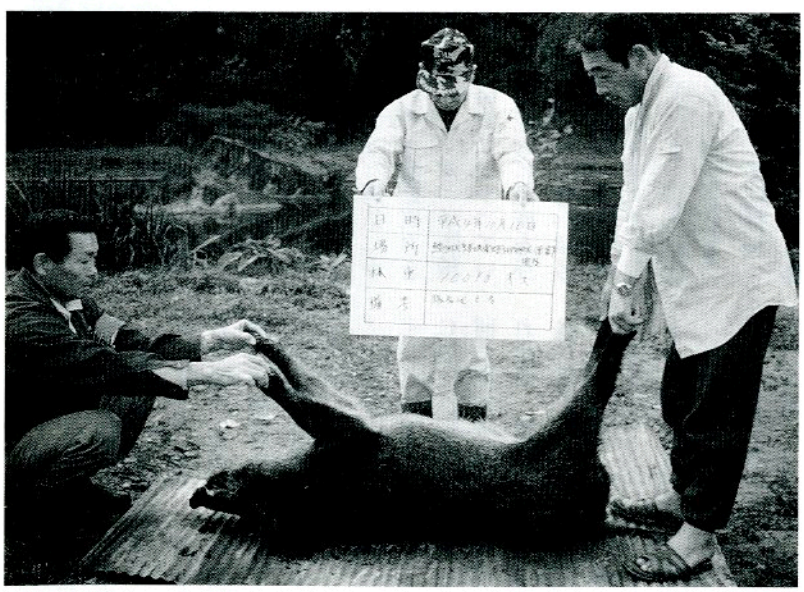
西山水稲成苗植組合は、昭和59年山間地稲作の生産安定を図るため、村、農協の勧めで、補助事業により水稲成苗植えの機械化を導入しました。

以来、グループによる成苗植え稲作を実践、近年は安全稲作のほかに、うまい米づくりの実践等稲作全般にわたる研究を行うとともに、育苗、植付けの作業受託も行っています。

塙セリ市場だより（4・10・20）

性別	頭数	取引価格			平均体重	平均日齢	1kg当り単価
		最高	最低	平均			
	頭	千円	千円	千円	kg	日	円
雌	134	911	109	250	274	313	915
去勢	127	521	124	362	302	314	1,199
計	261			305			

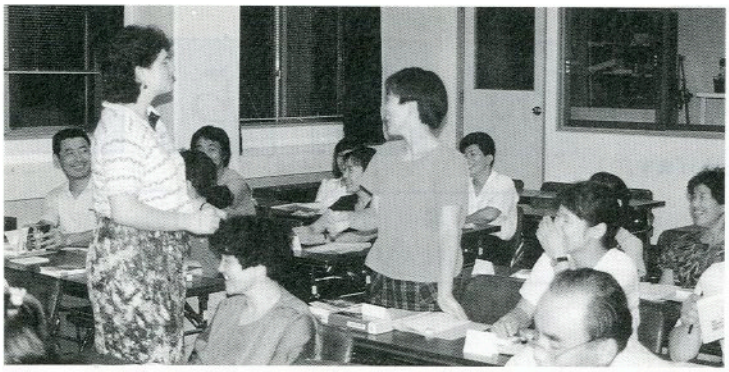
山の猛獣 イノシシ捕獲



鮫川村有害鳥獣駆除隊（松本重忠会長）では、十月七日青生野羽双地内でオス一頭（八〇キロ）、十一日には赤坂東野葉貫地内でなんと一〇〇キロものイノシシのオスを捕獲しました。

農作物等が有害鳥獣に荒されている場合には、役場農林課に連絡してください。

英会話教室
マイイングリッシュ終る



九月四日から十月二十三日までの毎週金曜日英会話教室が実施されました。村内の一般成人二十三人の応募があり、八回にわたり日常英会話を中心に行われました。

鮫川村も近年オーストラリアからのホームステイを受け入れたり、海外研修などで外国へ行かれる方が増大するなど、外国語を使う機会が増えてきました。幸い、今年七月からニュージーランドより鮫川村語学指導助手としてジェーン先生を受け入れ、直接生きた英語を教えてもらえることになり、まさに今回の英会話教室は時機を得たものです。

二十代から六十代まで、それぞれ申し込んだ動機は異なりますが、毎回和気あいあい楽しく体全体で英会話を学んでいたようです。

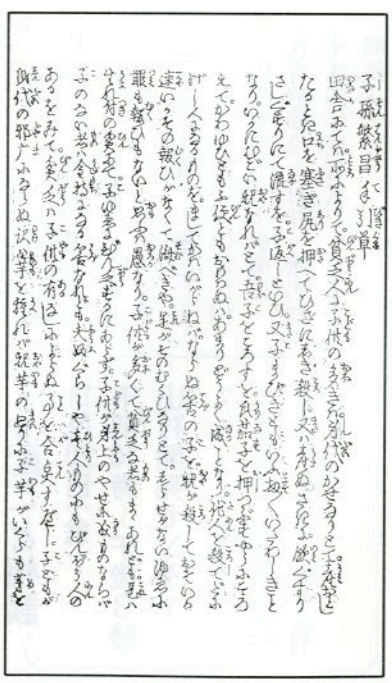
八回の講座のうち、前半の四回は主にホームステイを受け入れるための英会話を、後半の四回は海外旅行に役立つ英会話を中心に学習しました。

若いジェーン先生のきれいな英語の発音とユーモアのある熱心な教え方に、参加者たちは時間も忘れるほど引き込まれていたようでした。

機会があれば今後も英会話教室を開催したいと考えています。

史資料を探る
辺土民間「子孫繁昌手引草」(2)

村史編さん室



「子供が多くて貧乏な者もまゝあれども是は生れ付の貧にて子ゆえに貧するにあらず」

この部分の論理は詭弁に聞こえる上現実とは勿論合う筈もないことである。いつの時代の誰であろうと親が子をいつくしみ、はぐくむことそれは本性であるしそれを拒まれれば敢然と対峙する。子返し間引きの根本原因は貧しさ故の心を鬼にしての悲しき晁業であることは明白。それをこのように言うことこそが非情にすぎる。しかしこの手引草は次のような論の展開において有無を言わせまいとする。その論理の巧みさに舌を巻く。

「子供が身上のやせに成るものならば、子のない者は金持になる筈なれども、夫婦ぐらしや一人ものにもびんぼう人のあるをみて貧乏は子供の有なしによらぬ事を合点すべし。子どもが身代の邪魔にならぬ訳は芋を植えれば親芋の回りに子芋がいくらも芽を出せども子芋が親芋の邪魔にはならで、子芋が多ければかへって親芋もふとるものなり。親芋のやせになるとて子芋を欠いて捨ればその欠け口より朽りて却って親芋の痛みになるなり。人間もその通りにて子どもが多くても、その子が面々福分をもちて生まるる故に少しも親のかせにはならぬなり。」

五人組の寄り合い、村の寄り合い等で村役人がこれを読み聞かせるのを聞く村人の心にははたと納得のいく一瞬があり、その目の光りが想像される。「子が面々福分をもちて生れてくる」の一語はさわやか、今日の親の心にも改めて届かせたい思いがする。(次号へ)

お知らせ

広報にあなたの写真がでていたらご連絡ください。さしあげます。

役場　☎49-3111
鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5

11月から郵便による住民票の写し等が請求できるようになりました

村では、役場から遠隔地の方の便宜と週休二日制実施に伴う住民サービス向上のため鮫川郵便局のご協力を得て、住民票の写しや納税証明書等を郵便により請求することができるようにしました。

1. 郵便により請求できるもの
   (1)本人と世帯員の住民票の写し（年金等現況届証明）
   (2)本人の記載されている戸籍、除籍の謄本又は抄本
   (3)本人の納税証明書、所得証明書等
2. 請求方法
   次のものを同封し役場担当課へ郵送してください。
   (1)住民票の写し等交付（証明）申請書（年金等現況届の証明も含む）又は、村税関係証明書交付請求書
   (2)手数料…次の額分の定額小為替証書・郵便切手
   ①住民票抄本…1枚150円
   ②住民票謄本（5人まで）150円
   ③戸籍謄・抄本1通300円
   ④除籍謄・抄本1通500円
   ⑤年金等現況証明…無料
   ⑥軽自動車車検用納税証明書……無料
   ⑦⑥以外の税務関係証明書……1通150円
3. 郵便請求用紙は、役場、郵便局又は、郵便外務員にお申しつけください。

村税継続完納36年達成にご協力を！

鮫川村は、皆さんのご協力により、昨年、村税継続完納三十五年という輝かしい記録を樹立しました。

この成績をさらに伸ばし、豊かな自然を活かした住みよい村づくりをすすめるため、十二月一日から二十五日までを「村税完納推進月間」と定め完納運動を展開することにしましたので、みんさんのご協力をお願いします。

児童遊び場・エアマット整備事業

毎年、赤い羽根共同募金にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

赤い羽根共同募金の配分金と村社会福祉協議会の助成により児童遊び場設置事業があります。

また、ねたきり等でエアマット希望の方には、県共同募金会から現物給付されます。



みなさんの地区で児童遊び場を作り、遊具を設置したいとか、エアマットを希望する家庭は、村社会福祉協議会にご相談ください。

心あたたまる寄附

（社会福祉協議会）

○上野町　吉田　ハツエ様
亡母（アキ様）の遺志により
三〇、〇〇〇円

○大塩　矢吹　一男様
亡母（スミ様）の遺志により
一〇〇、〇〇〇円

○大石草　鈴木　武様
亡父（嘉上様）の遺志により
一〇〇、〇〇〇円

○田人カントリー倶楽部
代表取締役　村井　康男様
平成四年度村民ゴルフ大会開催にあたり
一〇〇、〇〇〇円

○大石草　生田目　清治様
亡母（ツメ様）の遺志により
五〇、〇〇〇円

○名下　須藤　一兄様
亡母（タケ様）の遺志により
三〇、〇〇〇円

○道少田　圓井　浩明様
亡母（安恵子様）の遺志により
三〇、〇〇〇円

心配ごと相談

11月20日(金)
午前10時～午後3時
山村開発センター

なお、午後1時から午後3時までは、弁護士が相談を受けますので、ご利用ください。

文芸





俳句

いわき市　金沢　暁舟
峡の村いそぐ夕日の鮎簗場
大　塩　矢吹　呂孝
芋の葉に水玉光る明日かな
二反田　大平　太平
文化祭薬に托してしめ作り
押　目　北条素人坂
善光寺善男善女紅葉晴
横　座　矢吹　茂
一年の稔りの稲に風の波
新　宿　斎須　信子
大陸へ海底トンネル抜けて春
福島市　中井　恒峯
寄せ植えのパンジー鉢に夏終る
道少田　山本　朗史
ゆく雲が気になるばかり猫案山子
大久保　生田目孝子
寝間に夜の音を響かせ秋の雨
道少田　山本五十鈴
只見路や霧をまとえる峯幾重
鮫川分校　沢　草二
撲夷とや山装える就縛地
鮫川分校　金沢賢嗣
冷ややかな井戸場のそばの野菜かな
鮫川分校　蛭田　吉郎
うさぎさち夜なべしてでも餅を搗く
鮫川分校　円井ひとみ
風を浴び雨をも浴びる案山子かな
前　沼　黒田　寿香
うそ寒やひつじ田の水鏡なす

短歌

岫　長　北條　平
稲架けの垂り穫にこの年の過ぎゆき思い農道歩む
折戸　阿久津キミヨ
朝起きて見上げる空は今日も晴れおしめり欲しいとわが独り言
名　下　須藤美代子
エンデバー追うアマチュアの映像の天文台に鳴く虫の声
大石草　鈴木イミ子
まだ青き峡の稲穂に露置きて摂氏八度の朝が来ている
酒　垂　石井　カヤ
燧岳はるかに望み尾瀬の道縁にそまりわれも歩めり
田苗下　蛭田　正
蟬の羽残して猫の去りゆけり
夕べ鳴きいし庭の木の下に
本　坂　藤田　初枝
戦死せし父と叔父上の墓二つ並びて百合の花咲かせおり
田苗下　蛭田　浩市
妹の二才の時に別れたり朝日テレビ前社長夫人としての便りが届く
中野町　赤坂　朝子
祭囃しの後追いてゆき孫ら居ず庭にしずかな中秋の月
越　虫　星　武
墓石を洗う家族らの濡れし手に秋の空よりの光りがとどく
青生野　吉成　タカ
さんま焼くわが足もとにからみきて猫がかぼそき鳴き声をあぐ
棚　橋　関根　一好
こんなひと傍に居たらと握手する掌の温もりよ万象大会

ジェーン先生の見聞録

Hello !　このごろ寒くなってきましたね。ＮＺ「ニュージーランド」では、今春です。小羊がたくさん産まれています。鮫川村では、お米が収穫されていますが、最近、雨がたくさん降っています。お米の栽培を見るのは、初めての経験ですが、とてもおもしろいことがわかりました。

私は、葉の色がカラフルに変わるなど、四季の移り変わりを楽しんでいます。ＮＺの木は、大部分が常緑樹ですので、秋は、日本ほどカラフルではなく、きれいでもありません。

先日、赤坂中野区の運動会に参加しました。おもしろい種目がたくさんあり、誰もが出場できました。私は、特に親と子が一緒に行う種目が好きでした。この運動会では、家族全員が戸外で楽しくすごすことができ、また、近所の人達ともゆっくりつくろげる機会となりました。みんながおいしい食べ物を持ち寄り、おたがいに分け合って、おいしく食べました。天気も大変よかったです。

ＮＺではこのような運動会はありません。しかし、このような運動会はすばらしい考えだと思います。本当に楽しかったです。

See you next month!

Jane



村のできごと



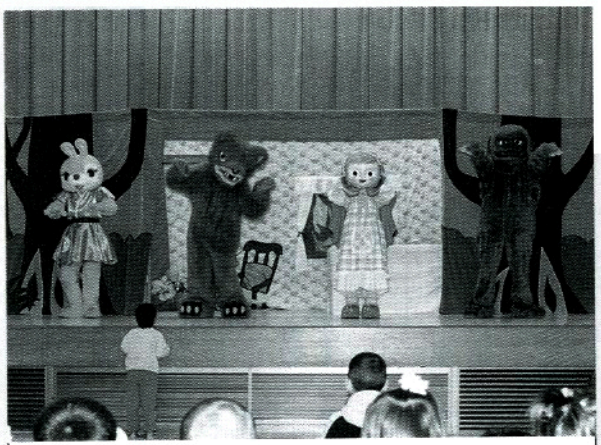
スポーツの秋

10月10日　体育の日に村内各区でスポーツ行事が行われました。赤坂中野区では第十回目の区民運動会が行われ、子どもからお年寄りまで区民総出で二十三種目に熱戦を繰りひろげ、ハッスルプレーが続出しました。日頃の運動不足を解消するさわやかな一日となりました。

盆栽・野草展

10月23～25日　第45回鮫川村文化祭の一環として盆栽展・野草展が開催されました。松や雑木などの盆栽100点、大文字草や岩ひばなどの野草100点が展示され、丹精込めて手入れをした作品は参観者を楽しませました。





〝たのしかったネ〟

10月13日　鮫川保育所、渡瀬保育所、西山児童館合同の人形劇観賞が行われました。劇団こぐま座による「赤ずきんちゃん」を観たあと、ゲームをしたり、歌を歌ったりして楽しいひとときをすごしました。

明るい社会を

10月13日　防犯協会鮫川支部による「防犯テント村」が鮫川駐在所前で行われました。安全で住みよい地域、社会づくりを目的として、全国防犯運動が十月十一日から二十日まで全国一斉に行われ、本村でも「犯罪のない明るい村づくり」を呼びかけました。



フォトルポ・

楽しい屋外給食



10月16日　学校給食センターで年二回実施している〝屋外給食〟が行われました。幼稚園では館山公園まで散歩したあと、やすらぎ広場で給食のお弁当をひろげ、青空の下でみんなでおいしいお弁当を食べ、楽しく過ごしました。

大きく育て



10月6日　棚倉林業事務所主催の放鳥会が村内の鮫川南休猟区と西野鳥獣保護区で行われました。西野鳥獣保護区では、西野小学校西野みどりの少年団の児童たちが、福島県鳥獣保護委員矢吹一郎さん（中沢）の話を聞いたあと、キジ18羽を「大きく育て」と願いを込め、大空に放しました。

おもちゃづくりに挑戦



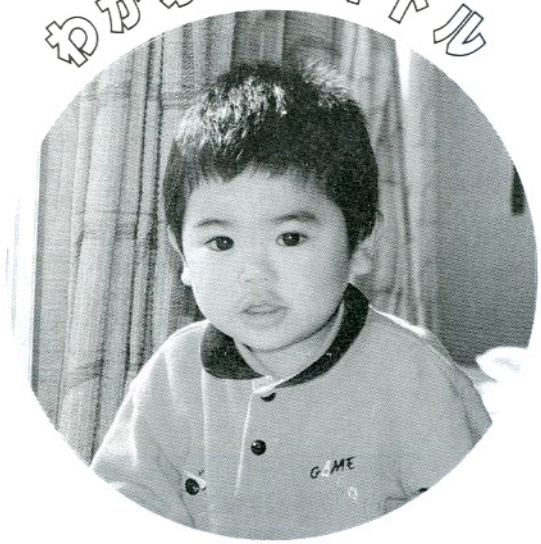
10月11日　ふるさと文化ふれあい教室第四回講座「昔のおもちゃづくり」が行われました。ヤマブキ鉄砲（しの鉄砲）竹とんぼ、小鳥ぶえ、ゴロゴロ糸まきなどを、身のまわりにある素材を利用して、老人クラブのみなさんの指導で作りました。子どもたちは、自分で物を作る楽しさを学びました。



ふれあいひろば

ふれあいひろばは、村民のみなさんに登場していただくページです。
2歳前後の〝お子さん〟と〝いろんな名人〟を紹介します。みなさんの意見、感想などもお寄せください。

わが家のアイドル



小嶋　佳承くん

（平成２年９月14日生）

小嶋満・高子さんの長男　（鍬木田）

おもちゃの車に乗って遊ぶのが好きです。牛や犬など動物も好きです。食事はきらいなものがなく魚が特に好きです。

最近、お話しが上手になって、来年の１月からおにいちゃんぶりを発揮しそうです。

（おかあさん）

名人登場

わら細工づくり名人

大平　太平さん（76歳）
（富田字二反田）

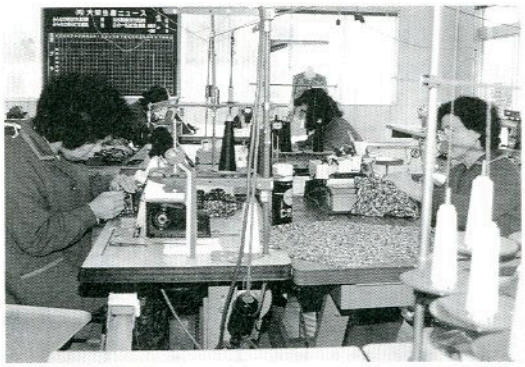


三年前に塙町のわら細工グループに遊びに行ったのがきっかけで始め、しめなわ、しょいな、ぞうり、かめなどを作ります。

色の良いわらを作るため、わら専用の稲を一畝くらい作り、穂が出る前に刈取り、その日のうちに火力乾燥します。

人材活用のための福島県高齢者人材名簿に今年度から登録されました。文化祭などで一回入賞すると〝もっといい物を作りたい〟と思うようになり、研究しながら新しい作品づくりに挑戦しています。

わたしたちの職場です⑥



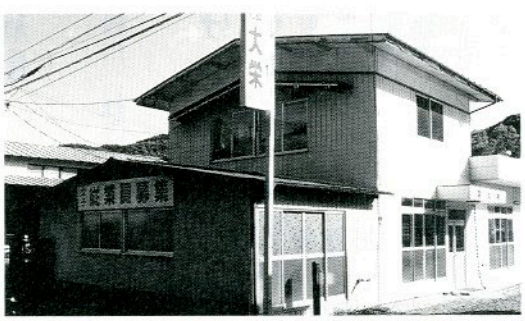
私たちの勤めている(有)大栄は、昭和61年に創業しました。

ブラウス、レディスYシャツ、ユニフォームを製造しています。ブラウスは(株)大沢、(株)信和に、ユニホームはカーシーかしまに出荷しています。

1か月の生産量は2,000点ぐらいで、仕分け→芯張→小物（ポケット、衿つくり）→縫製→仕上げの作業になっています。

春の花見・秋のいも煮会などのほか、旅行があります。

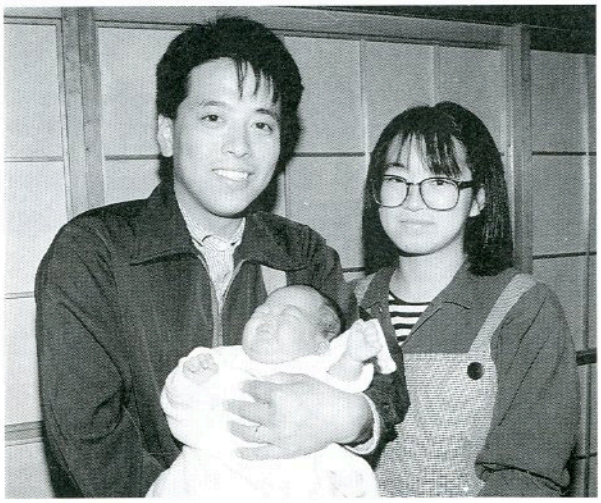
現在、従業員は9人で、家庭的な雰囲気で和気あいあいと楽しく仕事をしています。



有限会社　大　栄

大字赤坂中野字新宿80－1
☎　49－3　3　4　6

●●●ふたりでバトンタッチ～⑱●●●



芳賀　一博 ♡美紀さん（西山字摺合）

一博さんは、芳賀貞夫さんの長男、美紀さんは須賀川市の出身で今年の三月八日に結婚式を挙げました。

ふたりは、岩瀬農業高校の同学年で高校三年の時から交際をはじめました。高校卒業後、一博さんは福島市の農協学園で一年学んだあとJA鮫川村に勤め、美紀さんは郡山市の㈱三万石に勤めていました。週二～三回のデートを重ね、ゴールインしました。

一博さんは美紀さんの〝体が小さくてしっかりしているところ〟に、美紀さんは一博さんの〝いっしょにいて落ち着けるところ〟にひかれたそうです。

一博さんと誕生日が同じ九月十九日に長男大輔君が生まれ、家の中が一段とにぎやかになったそうです。

家族全員が健康で、会話のある明るい家庭を築きたいそうです。おしあわせに。

芳賀さんの紹介で次は　國島武人♡奈津子さんです



第45回鮫川村文化祭

集中行事11月14～16日

○お母さんお嫁さんに感謝する会　○健康まつり
○小・中学校児童生徒学習発表会　○奥の鮫川短歌会
○くらしのアイデア展　○老人作品展　○一般作品展
○色紙・書道展　○学校行事作品展　○中井恒峯日本画展
○映画会　○ＪＡまつり　○チャリティバザー　○村政写真展
○京白農商鮫川分校「山峡祭」　○郵便局ふれ愛コーナー
○小・中学校児童生徒作品展　○陶芸展　○華道展

今月の人口

（10月１日）

（人口）	（男）	（女）	（世帯）
5,255人（－7）	2,597人（－2）	2,658人（－5）	1,132戸（0）

こちら窓口

お誕生おめでとうございます

住所	赤ちゃんの名前	月/日	保護者
摺合	芳賀大輔	9/19	芳賀一博
酒垂	田子拓人	9/28	田子宣広
発地岡	高野祐樹	10/2	高野晴一
前沼	吉保琴恵	10/3	吉保広幸
内ケ竜	近藤稚奈	10/7	近藤清美
内ケ竜	羽田結花里	10/7	羽田孝雄

おくやみ申し上げます

住所	亡くなられた方	年齢	世帯主
上野町	吉田アキ	91	吉田ハツエ
大石草	生田目ツメ	76	生田目清治
大塩	矢吹スミ	83	矢吹一男
大石草	鈴木嘉上	77	鈴木武
名下	須藤タケ	68	須藤一雄
道少田	圓井安恵子	54	圓井榮一
福原	蛭田ラク	73	蛭田ハルノ

9／21から10／20の届出

取上　緑川誠　10/18　緑川好之

ゴミは収集日に

収集コース	種別	11月	12月
江竜田～中野町～福原～彦次郎～鍬木田～前沼～さぎり荘入口～広畑～巡ケ作～役場～保育所コース	可燃物	2.5.9.12.16 19.26.30	3.7.10.14.17 21.24.28
	不燃物	6.20	4.18
農協前～農協倉庫～給食センター～道少田～教員住宅～伏木田～大塩コース	可燃物	2.5.9.12.16 19.26.30	3.7.10.14.17 21.24.28
	不燃物	6.20	4.18
真坂～寅卯平～西部集落センター～茅～本坂～酒垂～滑石～塚本～折戸～宝木～水口～落合～官沢コース	可燃物	4.11.18.25	2.9.16
	不燃物	5.19	3.17
石井草～前田～大久保～鬼越～戸倉～赤柴～菅田～大沢～余所内～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	可燃物	4.11.18.25	2.9.16
	不燃物	27	25
越虫～青生野～葉貫～戸草～蕨ノ草～中沢入口～中沢コース	可燃物	4.11.18.25	2.9.16
	不燃物	4.18	2.16
官代～楢久保～遠ケ竜～	可燃物	4.11.18.25	2.9.16
大石草～内ケ竜コース	不燃物	6.20	4.18
鮫川分校（木曜のみ）、鮫	可燃物	2.5.9.12.16 19.26.30	3.7.10.14.17 21.24.28
中コース	不燃物	5.19	3.17

休日のお医者さん

月日（曜）	棚倉町	塙町	石川町
11月８日(日)	菅原	厚生病院	大野(診)
15日(日)	大木	—	三瓶
22日(日)	東白川中央	石川	鹿岡
23日(月)	藤田	—	矢吹
29日(日)	杉山	—	中島
12月６日(日)	和田	中島	田中
13日(日)	勝田	車田	大野(病)

今月の納付

固定資産税　4期分
国民健康保険税　6期分
国民年金保険料　11月分
納期限　11月25日

＝あとがき＝

♥21世紀は農村の時代。西山先生のお話を聞いて、鮫川村にも光が射し込むような気がしました。明るい未来がまっています。♥かねて要望のありました文化祭集中行事と農協まつりが同時に行われることになりました。皆さんもぜひ参加して盛会にしましょう。